

1 題材について

対 象 学 年	中学校 第2学年
学 習 指 導 要 領	第2学年及び第3学年の内容 A表現(1)ア、ク
題 材 名	歌詞の内容を生かした表現（全6時間） 【教材名】 表現教材：「時の旅人」
題 材 目 標	歌詞の内容を言葉の反復、部分ごとの関わり、旋律との関わりから自己のイメージをふくらませ、曲にふさわしい歌唱表現をすることができる。 （音楽への関心・意欲・態度） 歌詞の内容を理解し、強弱表現や速度などの変化によってふさわしい歌唱表現を工夫することができる。 （音楽的な感受や表現の工夫） 歌詞の内容を理解し、その曲想を生かすために強弱の変化を歌唱表現する技能を身に付けることができる。 （表現の技能）
配 慮 事 項	基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 題材指導計画作成上の工夫（教材選択、教材配列、教材の時間配分等） ・歌詞の内容や曲想（強弱の変化、旋律の特徴による）を理解しながら、曲にふさわしい表現を工夫することができるよう、パート練習において表現の工夫をつかむ場・表現の高まりをつかむ場を位置付ける。 単位時間における工夫（音楽活動の基礎的な能力を伸ばす指導・援助等） ・言葉のまとまりを生かしたクレッシェンドの表現を工夫することができるよう、歌詞の繰り返しやパートの旋律の重なりがわかる掲示を示す。 ・歌詞の繰り返しを生かした強弱表現や歌詞の内容の変化を生かした速度の変化などの表現を感じ取ることができるよう、歌詞の内容や繰り返しをわかりやすく示した学習プリントを用いる。
参 考 資 料	資料1：毎時間の学習課題や振り返る視点を位置付けた学習プリント

2 題材の評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能
歌唱			
内容のまとめりと評価規準	<p>歌詞の内容や曲想、曲種に応じた発声や美しい言葉の表現、声部の役割と全体の響きに関心を持ち、曲にふさわしい歌唱や合唱の表現をすることに意欲的である。</p>	<p>音楽の構成要素・表現要素を知覚し、それらが生み出す曲想の美しさを感じ取っている</p> <p>歌詞の内容や曲想の味わい、曲種に応じた発声や言葉の特性、声部の役割と全体の響きの調和を感じ取っている。</p> <p>歌詞の内容や曲想の味わい、曲種に応じた発声や言葉の特性、声部の役割と全体の響きの調和を感じ取って歌唱や合唱の表現を工夫している。</p>	<p>歌詞の内容や曲想、曲種に応じた発声や言葉の特性を生かして歌唱表現をする技能(読譜力を含む)を身に付けている。</p> <p>声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱表現をする技能を身に付けている。</p>
題材評価規準	<p>歌詞の内容や曲想を理解し、曲にふさわしい歌唱表現をすることに意欲的である。</p>	<p>歌詞の内容や曲想を理解し、曲にふさわしい歌唱表現を考え、速度や強弱の表現を工夫している。</p>	<p>歌詞の内容や曲想を理解し、速度や強弱などの表現を工夫して歌唱表現をする技能を身に付けている。</p>
単位時間に具お体ける評価規準	<p>歌詞のまとめりによって分けられるそれぞれの部分について、歌詞の内容や曲想に関心をもって聴いている。</p> <p>歌詞の内容や曲想に合った速度や強弱の表現を工夫しながら合唱する活動に意欲的である。</p>	<p>歌詞のまとめりによって分けられるそれぞれの部分について、歌詞の内容や曲想を感じ取っている。</p> <p>歌詞の内容や曲想から曲の特徴をつかみ、曲にふさわしい速度や強弱の表現を工夫している。</p>	<p>音程やリズムを正しく歌唱表現している。</p> <p>曲にふさわしい速度や強弱の表現の仕方を感じ取り、それを生かした歌唱表現をする技能を身に付けている。</p>

3 指導と評価の計画 (全6時間)

時	教材	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	時の旅人	<p>範唱を聴くことを通し、曲想を感じ取ったり、歌詞の内容や構成について考えることができる。</p>	<p>「時の旅人」の範唱を聴き、曲全体の感じをつかみ、学習のめあてをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>歌詞の構成を知り、歌詞に込められた内容を考えて表現への願いをもとう</p> </div> <p>歌詞の内容のまとまりから曲全体が5つの部分に分けられていることをつかむ。 繰り返される歌詞や時を表している言葉を手がかりに、曲に込められた内容を考えプリントにまとめる。</p>	<p>アー 歌詞のまとまりによって分けられるそれぞれの部分について、歌詞の内容や曲想に関心をもって聴いている。</p> <p>イー 歌詞のまとまりによって分けられるそれぞれの部分について、歌詞の内容や曲想を感じ取っている。</p>	<p>学習プリント ・自分の好きな部分を見付けて書いたり、イメージをふくらませて書いたりしている記述から評価する。</p> <p>学習プリント ・それぞれの部分が現在・過去・未来のどれを表しているか、歌詞に注目しながら書いている記述から評価する。</p>	<p>過去・未来・現在などの時を表す言葉を意識させ、その前後から歌詞の内容を想像するよう助言する。</p> <p>イメージをふくらませていけるよう、未来への希望や今、仲間とともにいる喜び、過去の懐かしい思い出など、時と関連した感想を書いている生徒のプリントを紹介する。</p>
2		<p>ABCの各パートの旋律の音程やリズムを正しくつかみ合唱をすることができる。</p>	<p>自分のパート旋律の流れをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A B Cの部分のパートの旋律を正しく覚えよう</p> </div> <p>パートリーダーの指示に従って、協力しながらパート練習を進める。 自分のパートがつかみ合えずに歌えるように合唱練習をする。</p>	<p>ウー 音程やリズムを正しく歌唱表現している。 (A B C)</p>	<p>観察 ・パート練習の中でパートの歌声や少人数で歌わせた時の様子から評価する。</p>	<p>音がとれなかったりリズムがつかみにくい所については音を補助したり、隣で歌ったりする。</p>
3		<p>DEの各パートの旋律の音程やリズムを正しくつかみ合唱をすることができる。</p>	<p>ABCの部分を合唱し前時の学習を振り返る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>D Eの部分のパートの旋律を正しく覚えよう</p> </div> <p>パートリーダーの指示に従って、協力しながらパート練習を進める。 他のパートにつられないで歌えるように練習する。</p>	<p>ウー 音程やリズムを正しく歌唱表現している。 (D E)</p>	<p>観察 ・パート練習の中でパートの歌声を聞いたり少人数で歌わせた時の歌唱表現から評価する。</p>	<p>音やリズムが取りにくい所については音を補助したり、隣で歌ったりする。</p>
4		<p>AとBについて、歌詞の内容にふさわ</p>	<p>歌詞の繰り返しと合唱形態の様子を確認し強弱表現の工夫の仕方を考える。</p>	<p>アー 歌詞の内容や曲想に合った速</p>	<p>観察 ・パート練習で繰り返し練習に</p>	<p>歌詞の内容や曲想に着目し、強弱や速度を試</p>

	<p>しいテンポや強弱の表現を工夫することができる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>AとBの部分の歌詞の内容の変化から曲にあった速度や強弱の変化を工夫をして合唱しよう。</p> </div> <p>パートリーダーの指示に従って、協力しながらパート練習を進める。 合唱の中でつられずに自分のパートが歌えるように練習する。</p>	<p>度や強弱の表現を工夫しながら合唱する活動に意欲的である。</p> <p>イー 歌詞の内容や曲想から曲の特徴をつかみ、曲にふさわしいや速度や強弱の表現を工夫している。</p>	<p>取り組んだり、進んで意見を出したりしている姿から評価する。</p> <p>観察 ・パート練習で速度や強弱を試しながら歌っている歌唱表現から評価する。</p>	<p>しながら、よりよい表現を求めている姿を価値付ける。</p> <p>楽譜中の記号を手がかりに強弱表現を考えさせたり、繰り返される歌詞のまとまりをもとに表現の変化を考えさせたりする。</p>
<p>5 本時</p>	<p>曲の頂点をもっとも強く表現するために、Dの歌詞の内容や繰り返される歌詞のまとまりをもとにクレッシェンドする表現の工夫ができる。</p>	<p>AとBの表現の工夫を生かして合唱する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Dの盛り上がりや、歌詞のまとまりを意識してクレッシェンドする表現を工夫しよう</p> </div> <p>全体で、歌詞の構成や内容を確認した後、パートに分かれて課題を意識しながら強弱表現について話し合い、伴奏テープや音の補助を入れて練習する。 各パートごとに工夫した表現を発表し合う。 CとDの部分を通して、表現の工夫がはっきりと分かるように合唱表現をする。</p> <p>学習のまとめとして、CとDの部分の表現の工夫を意識しながら、全曲を通して合唱し、表現の高まりを振り返り、学習プリントにまとめる。</p>	<p>アー 歌詞の内容や曲想に合った速度や強弱の表現を工夫しながら合唱する活動に意欲的である。</p> <p>イー 歌詞の内容や曲想から曲の特徴をつかみ、曲にふさわしい速度や強弱の表現を工夫している。</p>	<p>観察 ・パート練習で繰り返し練習に取り組んだり、進んで意見を出したりしている姿から評価する。</p> <p>観察 ・パート練習で速度や強弱の変化を付けて歌っている歌唱表現や、その声量の変化のさせ方について意見を出したりしている姿から評価する。</p>	<p>楽譜中の記号を手がかりにした強弱表現や、繰り返される歌詞の部分の表現の変化を考えさせる。</p> <p>「歌おう」の前の休符でさらに勢いをつける意識をもち、たっぷり息を吸って歌うことにより曲の山を表現することができるようにする。</p>
<p>6</p>	<p>Eの部分の表現の工夫をして、全曲を通してまとめの合唱をすることができる。</p>	<p>C・Dの部分の合唱を行い、前時までの学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Eの部分の歌詞や旋律から曲にあった速度や強弱の表現を工夫し、全曲を通してまとめよう。</p> </div> <p>前半と後半の旋律の重なりや同じ歌詞が繰り返されている部分に注目し</p>	<p>(ウー) 曲にふさわしい速度や強弱の表現の工夫を感じ取り、それを生かした歌唱表現をする技能を身に付けている。</p>	<p>観察 ・速度や強弱を試しながら繰り返し歌っている歌唱表現から評価する。</p>	<p>合唱の中で表現の工夫ができるように3つのパートの重なりを掲示で示しながら練習に取り組ませる。</p>

		<p>て、表現の変化を付けるよう、合唱練習を行う。 表現の工夫を生かして全員で合唱する。 録音を聴き、表現の高まりについて確認する。</p>		
--	--	--	--	--

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

曲の頂点をもっとも強く表現するために、Dの歌詞の内容や繰り返される歌詞のまとまりをもとにクレッシェンドする表現の仕方を工夫することができる。

(2) 本時の位置

5 / 6時

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	評価について	指導・援助
つかむ / 高める	1 「時の旅人」を前時までの学習を生かして合唱する。 ・ AとBの表現の工夫について振り返る。		曲の頂点に込めた表現への願いを確認し、工夫する表現方法について方向付ける。
	2 今までの自分たちの録音を聴き本時の課題をつかむ。 課題 Dの盛り上がりをもとに、歌詞のまとまりを意識してクレッシェンドする表現を工夫しよう。		
/ 高める / まとめる	3 全体で、歌詞の構成や内容を確認した後、パートに分かれて課題を意識しながら強弱表現について話し合い、伴奏テープや音の補助を入れて練習する。 (C、Dの部分)	アー 歌詞の内容や曲想に合った速度や強弱の表現を工夫しながら合唱する活動に意欲的である。 観察 ・パート練習で繰り返し練習に取り組んだり、進んで意見を出したりしている姿から評価する。 イー 歌詞の内容や曲想から曲の特徴をつかみ、曲にふさわしい速度や強弱の表現を工夫している。 観察 ・パート練習で速度や強弱の変化を付けて歌っている歌唱表現やその声量の変化のさせ方について意見を出している姿から評価する。	楽譜中の記号を手がかりにした強弱表現や、繰り返される歌詞の部分の表現の変化を考えさせる。 声量を10段階とし、曲の山まで、歌詞のまとまりごとにどのように数字を付けてクレッシェンドするのかを、意見交流しながら進めさせる。 「歌おう」の前の休符でさらに勢いをつける意識をもち、たっぷり息を吸って歌うことにより曲の山を表現することができるようにする。
	4 各パートごとに工夫した表現を発表し合う。		
	5 CとDの部分を通して、表現の工夫がはっきりとわかるように合唱表現をする。		
6 CとDの部分の表現の仕方を意識しながら、全曲を通して合唱し表現の高まりを振り返り、学習プリントにまとめる。			

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

評価規準 例 イー

歌詞の内容や曲想から曲の特徴をつかみ、曲にふさわしい速度や強弱の表現を工夫している。

(2) 評価の実際

— 評価の方法 —

観察

- ・パート練習で速度や強弱の変化を付けて歌っている歌唱表現や、その声量の変化のさせ方について意見を出したりしている姿から評価する。

— 判断の事例 —

Cと判断

- ・速度やクレッシェンドの表現について振り返る時に発言できなかつたり、仲間の発表を聞いて速度や声量を変えて表現することができなかつた生徒をCとした。

Aと判断

- ・パート練習の中で、自分たちの声の大きさを数字で振り返りながら、「1回目は5で次は7の大きさにあげて最後に10の大きさにしたら」などと、表現の目安を提案している生徒、自分の演奏を振り返って「今は7まで声のレベルがあがっていなかつたから、もっと2回目は大きくした方がいい」などと、『歌おう』という曲の山を生かした表現を目指して意見を出している生徒をAとした。

(3) 個に応じた指導の実際（Cと判断される状況への働きかけ）

表現について意見を言おうとしない生徒に対しては、パートの話合いの中で、仲間の意見について同じ考えかどうか尋ね、答えた意見に対して他の生徒にどう思うか聞くなどして活動に参加できるように援助した。

生徒の『いま～』の2回目は7ぐらいの大きさがいい」という意見から、表現を振り返らせるなどして援助したところ、リーダーが「今の歌声が5-7-10になっていたと思いますか」という問いかけに首をかしげたり、「5はいいと思う」という意見にうなずいたりする姿が見られた。さらに「歌おう」の前の休符でたっぷり息を吸って歌うよう助言したところ、少しずつ曲の山を表現することができるようになった。

時の旅人

2年 組 番氏名

- 1 歌詞の構成を知り、歌詞にこめられた内容を考えて表現への願いをもとう

<ul style="list-style-type: none">・この曲で一番盛り上げたいところはどこですか ・なぜそう思いましたか

- 2 A、B、Cの部分のパートの旋律を正しく覚えよう

- ・パートの練習にまじめな態度で取り組めた。()
- ・反省会で意見を言うことができた。()
- ・つられずに歌うことができた。()

パートの歌声を振り返って(他のパートと合わせてみて)反省を書こう

--

- 3 D、Eの部分のパートの旋律を正しく覚えよう

- ・パートの練習にまじめな態度で取り組めた。()
- ・反省会で意見を言うことができた。()
- ・つられずに歌うことができた。()

パートの歌声を振り返って(他のパートと合わせてみて)反省を書こう

--

- 4 AとBの部分の歌詞から歌われている時の変化にあった速度や強弱の変化を工夫して 合唱しよう

- ・歌声や表現について自分から意見が言えた。()
- ・強弱表現を工夫して歌うことができた。()
- ・指揮に合わせて歌うことができた。()

今日の合唱表現を振り返って

--

- 5 Dの部分の曲の盛り上がりを、歌詞のまとまりを意識してクレッシェンドしていく表現を工夫しよう
- ・歌声や表現について自分から意見が言えた。 ()
 - ・強弱表現を工夫して歌うことができた。 ()
 - ・指揮に合わせて歌うことができた。 ()

今日の合唱表現を振り返って

- 6 Eの部分の繰り返される歌詞の部分の強弱表現や速度の変化を工夫しよう。
- ・歌声や表現について自分から意見が言えた。 ()
 - ・強弱表現を工夫して歌うことができた。 ()
 - ・指揮に合わせて歌うことができた。 ()

今日の合唱表現を振り返って

「時の旅人」

A

めぐるめぐる風 めぐる思いにのって なつかしいあの日に 会いにゆこう

めぐるめぐる風 めぐる思いにのって ぼくらは 時の 時の旅人

忘れかけていた日々 すべての物が友達だった頃

B

汗をぬぐって歩いた道 野原で見つけた小さな花

幼い日の手のぬくもりがかえってくる

汗をぬぐって歩いた道 野原で見つけた小さな花

幼い日の手のぬくもりがかえってくる

C

優しい雨に打たれ 緑がよみがえるように

涙のあとにはいつも君が 側にいて生きる喜び 教えてくれた 教えてくれた

D

今 君と 未来へのとびら開こう 今 君と あふれる希望を歌おう

めぐる風 めぐる思いにのって すばらしい明日に 会いにゆこう

めぐる風 めぐる思いにのって すばらしい明日に 会いにゆこう

今 君と 未来へのとびら開こう

めぐる風 めぐる思いにのって すばらしい明日を 歌おう

今 君と あふれる希望を歌おう

E

ぼくらは旅人 夢の旅人 ラララ・・・ 旅人

ぼくらは旅人 時の旅人 ラララ・・・